

船舶事故等調査報告書

平成21年11月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009神第231号	
事故等種類	衝突（ブロック）	
発生日時	平成21年7月11日 07時00分ごろ	
発生場所	徳島県浅川港入口付近 (北緯33°37.5′ 東経134°22.5′)	
事故等調査の経過	平成21年8月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 押船 第31若 ^{わかえい} 栄丸、19トン 282-16527徳島、株式会社セノオ B 起重機船 第3若 ^{わかえい} 栄丸、996トン 長さ49m、幅18m、深さ2.5m、株式会社セノオ	
乗組員等に関する情報	A 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 B なし	
死傷者等	なし	
損傷	A 40t型2点支持連結装置油圧シリンダー損傷 B なし	
事故等の経過	A船は、船首部に連結したB船を押して、港口付近において左回頭中（右舷主機を半速力前進、左舷主機を全速力後進、バウスラスト運転）、平成21年7月11日07時00分ごろ、突然左舷主機のクラッチが作動不能となり、左回頭後進のまま、B船の右舷船尾外板が、港内の海中に仮置きされていた45t型の岸壁工事用L形ブロック廃材に衝突した。 衝突の衝撃で、A船とB船を一体化している連結装置の高圧油圧シリンダー（通常の間作動油圧180～210kg/cm ² ）が損傷した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風力 5、視界 良好 海象：うねり なし	
その他の事項	A船の左舷主機クラッチは事故直後に自然正常復帰。その後異常なし。クラッチ作動用の前後進切替弁或いはワイヤリンクの瞬時固着の可能性が考えられるが、その後、作動不能の再現性がなく原因は不明。 A船は、左舷主機クラッチ操縦系統（特に、前後進切替弁、ワイヤリンク、クラッチ作動油）の入念な点検を予定している。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし あり なし A船の左舷主機のクラッチは、前後進切替弁が一時的に固着したため、後進側に入ったまま切替不能となった可能性があると考えられるが、その状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、浅川港入口付近において、A船が連結装置によってB船と一体となった状態で回頭中、左舷主機のクラッチ前後進切替弁が一時的に固	

	<p>着したため、後進側に入ったまま切替不能となり操船不能となって港内の海中に仮置きされていたL形ブロックに、B船の右舷船尾が衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。</p>
--	---